

## 修正番号単価の算定 【NTT東日本】

(1) R2.7~12月の間で徴収すべき額を算出 (A東-B東-C東=D東)

A東	B東	C東	D東
徴収すべき負担金総額	前年度過不足額	R2.1~6月 (算定月)間の 徴収見込額	R2.7~12月 (算定月)間の 徴収すべき見込額
<ul style="list-style-type: none"> <li>●補てん対象額 3,788,462,776円</li> <li>+</li> <li>●支援機関事務費 36,174,572円</li> <li>=</li> <li>合計 3,824,637,348円</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>①R2.1月分 275,984,027円</li> <li>②R2.2~6月分 (予测算定対象電気通信番号の総数の合計適用) 1,382,986,109円 (1.14314690円 × 1,209,806,114番号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>=</li> <li>1,985,773,610円</li> </ul>

(2) 合算番号単価に(1)の算出額を乗じた後、R2.7~12月の間で徴収すべき総額(D東とD西の合計額)で除する。(F×D東÷D=NTT東日本修正番号単価)

F 合算 番号単価	×	D東 R2.7~12月 (算定月)間の 徴収すべき見込額	÷	D (D東+D西) R2.7~12月(算定月)の間 で徴収すべき見込額の総額
2円		1,985,773,610円		3,471,970,408円

= 1.14388856 円

## 修正番号単価の算定 【NTT西日本】

(1) R2.7~12月の間で徴収すべき額を算出 (A西 - B西 - C西 = D西)

A西 徴収すべき 負担金総額	B西 前年度 過不足額	C西 R2.1~6月 (算定月)間の 徴収見込額	D西 R2.7~12月 (算定月)間の 徴収すべき見込額
●補てん対象額 2,839,666,605円 + ●支援機関事務費 27,114,883円 = 合計 2,866,781,488円	-	137,092,974円  ① R2.1月分 206,865,597円  ② R2.2~6月分 (予測算定対象電気通信番号の総数の合計適用) 1,036,626,119円 (0.85685310円 × 1,209,806,114番号)	-
			=
			1,486,196,798円

(2) 合算番号単価に(1)の算出額を乗じた後、R2.7~12月の間で徴収すべき総額(D東とD西の合計額)で除する。(F × D西 ÷ D = NTT西日本修正番号単価)

F 合算 番号単価	×	D西 R2.7~12月 (算定月)間の 徴収すべき見込額	÷	D (D東+D西) R2.7~12月(算定月)の間 で徴収すべき見込額の総額
2円		1,486,196,798円		3,471,970,408円

= 0.85611144 円